

## 海域管理計画モニタリング評価シート(案)

### 1. 調査対象に係る基本事項

構成要素	5. 海鳥・海ワシ類
対応方針 または 保護管理 の考え方	海鳥類については、今後とも各種調査や情報の収集を行い、鳥獣保護法に基づく適切な保護管理を行う。

### 2. 調査対象

	海水	水温・水質・クロフィラ・プランクトンなど	生物相	有害物質
	サケ類	スケソウダラ	トド	アザラシ
<input type="radio"/>	海鳥類	海ワシ類	利用の適正化	

### 3. 調査・モニタリング表

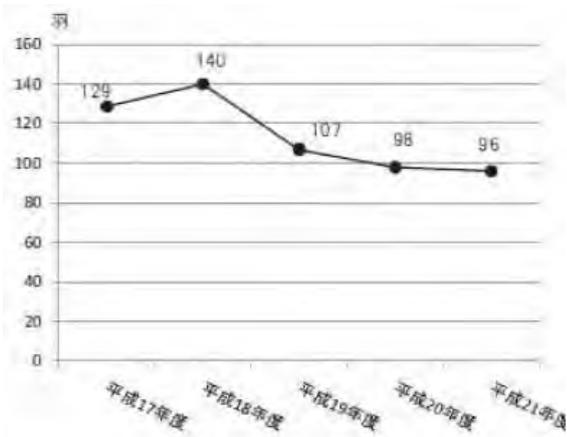
調査名称等	主な内容	06	07	08	09	10
24. 海鳥類調査 (環境省)	知床半島の海鳥（ケイマフリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウ）生息数、繁殖個体数調査	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
25. 生息地、営巣地調査 (知床海鳥研究会（調査依頼：環境省）)	海鳥の生息地、営巣地の調査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
26. 海鳥長期モニタリング (海鳥類長期モニタリング調査グループ)	半島海岸線における海鳥繁殖状況の調査	<input type="radio"/>				

### 4. 評価

		<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 概ね横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少	
評 価		ケイマフリについてはカウント数が毎年減少 ウミネコ、オオセグロカモメについては2000年前後を境に生息数が減少 ウミウについてはウトロ海域以外の場所で野繁殖が増加、生息数はほぼ一定 営巣数の減についてはヒグマの侵入によるものと考えられる			
今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善継続	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 新規
		生息数の減少が見られることから今後も注意深くモニタリングを実施していく必要がある			
備 考					

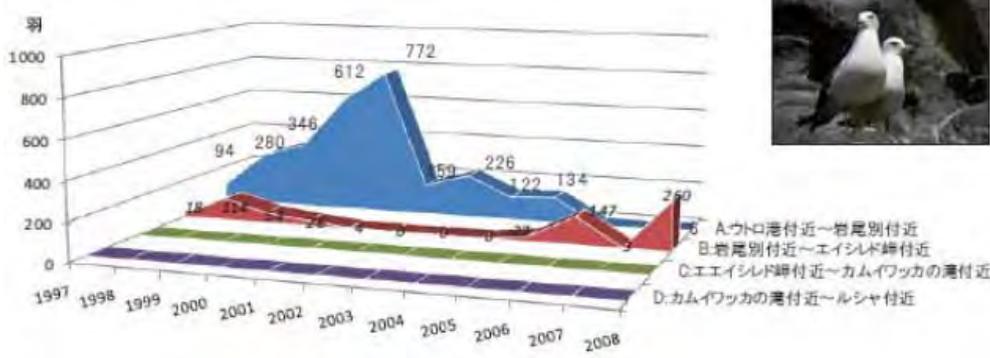
5. 調査、モニタリングの概要 1/3

調査・モニタリング名	24. 海鳥類調査
主な内容	知床半島の海鳥（ケイマフリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウ）生息数、繁殖個体数調査
対象地域	斜里町、羅臼町
頻度	-
調査主体	環境省
調査結果概要	5年に1回（モニタリングサイト1000海鳥調査 ※当初の調査名称）



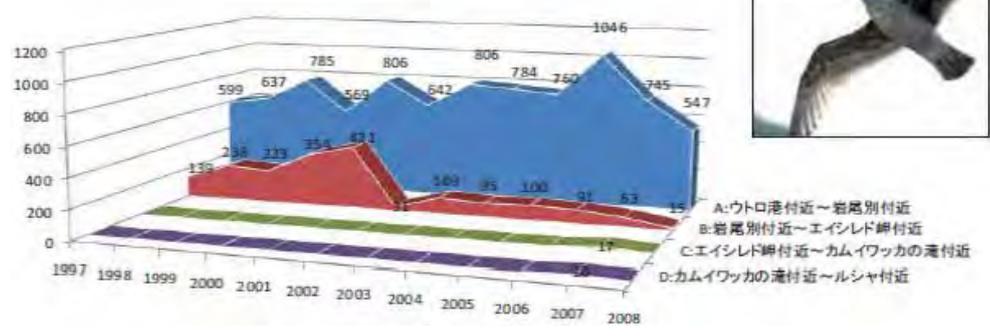
◆ケイマフリ海上分布最大カウント数の推移(平成17年～平成21年)  
 [出展: 環境省「平成21年度知床国立公園ウトロ海域における適正利用業務報告書」]

最大カウント数は平成18年の140羽を最大として毎年減少し、平成21年度は平成17年度の調査開始から最小の96羽となっている。



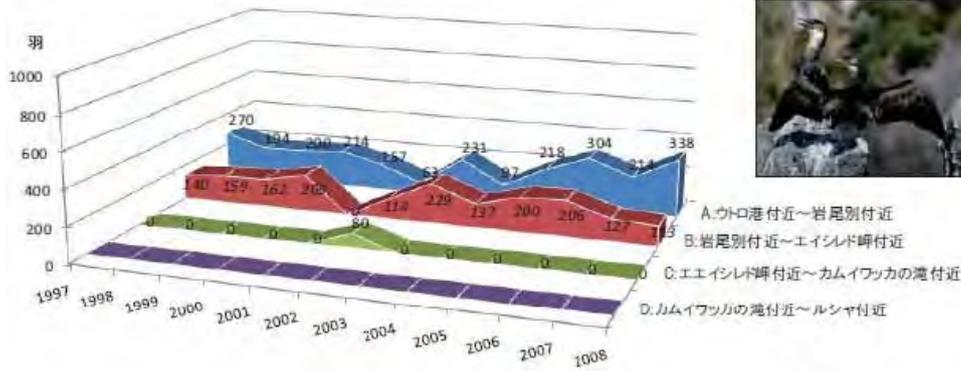
◆ウトロ海域でのウミネコの繁殖数の推移(1997～2008年) [出展: 同上]

知床半島全体でウトロ港～エイシレド岬の区間のみ繁殖している。ウミネコの繁殖が最も多かったのは2001年のA地区で772羽だったが、その後激減している。ヒグマの侵入し卵や雛を捕獲したことが繁殖数減少の原因である可能性が高いと報告されている。



◆ウトロ海域でのオオセグロカモメの繁殖数の推移(1997～2008年) [出展: 同上]

知床半島全体の繁殖数のうち、70%がウトロ海域。2006年では前年度から繁殖数が増えたが、翌年から減少している。これはフルベの滝の営巣が1巣に激減し、A区域の営巣数が2006年の1046巣から2008年の547巣に減少したため。フルベの滝での減少は、ヒグマの侵入による可能性が高いと報告されている。



◆ウトロ海域でのウミウの繁殖数の推移 (1997～2008年) [出展: 同上]

ウミウの繁殖地は、2001年にウトロ海域以外の場所で野繁殖が増えたが、2005年からは知床の繁殖の80%以上、2007年には100%がウトロ海域となっている。知床岬に近いタカサラウニにおいてヒグマの侵入による巣数の激減が報告されている。

オオセグロカモメ・ウミネコ・ウミウの生息数 (1997～2008年)

		1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
オオセグロカモメ	A	599	637	785	569	806	642	806	784	760	1046	745	547
	B	139	238	223	354	421	31	109	95	100	91	63	15
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0
	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
	知床半島合計	920	1471	1709	1447	1317	812	1171	1080	860	1415	1016	792
ウトロ海域の占める割合		80%	59%	59%	64%	93%	83%	78%	81%	100%	80%	82%	71%
ウミネコ	A	94	280	346	612	772	159	226	122	134	0	0	6
	B	18	114	54	26	4	0	0	0	27	147	3	260
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知床半島合計	112	3974	400	638	776	159	226	122	161	147	3	266
ウトロ海域の占める割合		100%	10%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
ウミウ	A	270	194	200	214	157	63	231	97	218	304	214	338
	B	140	159	162	209	0	114	229	137	200	206	127	113
	C	0	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0
	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知床半島合計	562	602	518	620	378	305	538	376	418	701	399	543
ウトロ海域の占める割合		73%	59%	70%	68%	42%	84%	86%	62%	100%	73%	85%	83%

A:ウトロ港付近～岩尾別付近 B:岩尾別付近～エイシレド岬付近 C:エイシレド岬付近～カムイワッカの滝付近  
D:カムイワッカの滝付近～ルンシャ付近



海鳥繁殖分布調査 区域位置図

5. 調査、モニタリングの概要 2/3

調査・モニタリング名	25. 生息地、営巣地調査
主な内容	海鳥の生息地、営巣地の調査
対象地域	斜里町
頻度	夏季
調査主体	知床海鳥研究会（調査依頼機関：環境省）
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知床半島における海鳥の生息状況と観光船による影響に関する調査報告書」知床海鳥研究会 福田佳弘著による</li> <li>※「繁殖数」＝営巣数のこと</li> </ul>

オオセグロカモメの区域別繁殖数と経年変化

区域\年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
A	599	637	785	569	806	642	806	784	760	1046	745	547
B	139	238	223	354	421	31	109	95	100	91	63	15
C	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	17	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	10	0
E	0	0	0	0	0	0	0	12	—	0	0	0
F	73	271	355	191	21	20	63	16	—	81	17	38
G	29	68	62	36	0	0	28	20	—	34	10	4
H	80	257	284	297	69	119	165	153	—	163	154	188
Total	920	1471	1709	1447	1317	812	1171	1080	860	1415	1016	792

斜里側

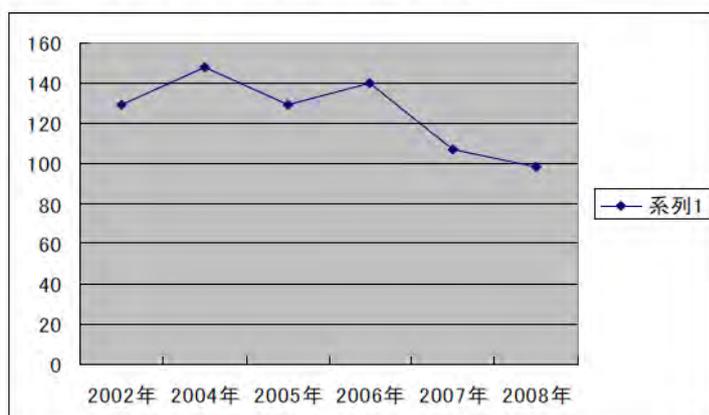
I	—	—	—	—	—	—	105	148	—	88	102	69
J	—	—	—	—	—	—	189	303	—	231	238	239
K	—	—	—	—	—	—	23	77	—	63	102	54
Total							317	528		382	442	362

羅臼側

知床半島全体

Total	—	—	—	—	—	—	1488	1608	—	1797	1458	1154
-------	---	---	---	---	---	---	------	------	---	------	------	------

ケイマフリの経年変化（2003年はデータなし）



ウミネコの区域別繁殖数と経年変化

区域\年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
A	94	280	346	612	772	159	226	122	134	0	0	6
B	18	114	54	26	4	0	0	0	27	147	3	260
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Total	112	394	400	638	776	159	226	122	161	147	3	266

斜里側

I	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0	0	0
J	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0	0	0
K	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0	0	0
Total	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0	0	0

羅臼側

知床半島全体

Total	—	—	—	—	—	—	226	122	—	147	3	266
-------	---	---	---	---	---	---	-----	-----	---	-----	---	-----

ウミウの区域別繁殖数と経年変化

区域\年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
A	270	194	200	214	157	63	231	97	218	304	214	338
B	140	159	162	209	0	114	229	137	200	206	127	113
C	0	0	0	0	0	80	0	0	—	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0
F	44	66	49	67	96	0	14	15	—	14	7	21
G	2	20	1	23	46	0	0	63	—	33	0	9
H	106	163	106	107	79	48	64	64	—	144	51	62
Total	562	602	518	620	378	305	538	376	418	701	399	543

斜里側

I	—	—	—	—	—	—	—	54	—	0	0	18
J	—	—	—	—	—	—	42	37	—	36	41	62
K	—	—	—	—	—	—	0	0	—	10	5	5
Total	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	46	85

羅臼側

知床半島全体

Total	—	—	—	—	—	—	580	467	—	747	445	628
-------	---	---	---	---	---	---	-----	-----	---	-----	-----	-----

5. 調査、モニタリングの概要 3/3

調査・モニタリング名	26. 海鳥長期モニタリング
主な内容	半島海岸線における海鳥繁殖状況の調査
対象地域	斜里町、羅臼町
頻度	6月
調査主体	海鳥類長期モニタリング調査グループ（知床財団、知床博物館、羅臼町ほか）
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認された種類は10科35種であり、期間を通して確認された種はオオセグロカモメ1種、多くの種は不定期に出現。</li> <li>・鳥類については、今後とも各種調査や情報の収集を行い、鳥獣保護法に基づく適切な保護管理を行う。</li> </ul> <p>※当初、繁殖状況の調査を行うこととなっていたが、実際は確認状況調査を実施</p>

種名	概要
オオハム SP.	7/23~9/20は未観察。オオハムとシロエリオオハムの識別が難しくオオハム sp. とする。
カイツブリ sp.	1/26のみ観察。アカエリカイツブリかカムリカイツブリの識別が困難なためカイツブリ sp. とする。
フルマカモメ	12月~2月の冬期間のみ観察されなかった。最高観察数は6/22の454羽
アカアシミズナギドリ	9/1, 2, 20に観察された。
ハイロミズナギドリ	6/22, 10/23に多く観察。ハシボソミズナギドリと比較すると秋期にも多く出現した。
ハシボソミズナギドリ	4/29~9/1に観察。10万羽以上が出現していたと考えられる。
ハイロウミツバメ	6/22~7/24に観察された。最高観察数は7/24の18羽
コシジロウミツバメ	7/23と9/20に観察
ウミウ	5/31, 7/23, 12/21, 2/1に観察
ヒメウ	4/29, 30, 10/22~2/2で観察
チシマウガラス	2/2に2羽観察
クロガモ	5/30, 9/24に観察
アカエリヒレアシシギ	5/30, 31, 9/1, 2, 20に観察
オオトウゾクカモメ	9/20, 10/22に観察
トウゾクカモメ	6/22~11/26に観察。最高観察数は9/1の179羽
クロトウゾクカモメ	9/20に1羽観察
ユリカモメ	4/29に11羽観察
セグロカモメ	9/20, 10/23~12/21に観察
オオセグロカモメ	一年を通して観察できた
ワシカモメ	1/26に1羽観察
シロカモメ	4/29, 11/23~2/2まで観察
カモメ	10/22~2/2に観察。最高観察数は12/22の85羽
ウミネコ	5/31~2/22に観察。ウトロ側で約200羽が繁殖
ミツユビカモメ	5/30~6/23, 9/1~12/21に観察。最高観察数は10/23の299羽
アジサシ	6/22, 23, 9/1~9/20に観察
ウミガラス	11/26~2/2に観察。最高観察数は12/22の17羽
ハシトウミガラス	4/29, 11/26~2/2に観察。最高観察数は2/2の34羽
ケイマフリ	9/2に12羽観察。2/1, 2にも観察。ウトロ側で約150羽前後が生息
マダラウミスズメ	4/29, 30, 7/23に観察
ウミスズメ	秋期から冬期にかけて主に観察。最高観察数は12/22の54羽
エトロフウミスズメ	12/22に1羽観察
コウミスズメ	12/22~2/2に出現。最高観察数は2/1の142羽
ウミオウム	11/26に1羽観察
ウトウ	12/22~2/2を除いた期間において観察
エトビリカ	6/22, 11/26に観察

作表データ出典：根室海峡における海鳥調査報告 2007-2008（知床博物館研報第30集）

